

じゅしゅう

久宝寺御坊 顕証寺さま

蓮如忌法要 参拝

令和になって初めての行事となりました。五月十一日(土)、今年も同じ川北組の寺院である、久宝寺御坊顕証寺さまのKAWACHI蓮如忌法要へ参拝させていただきました。

今年のご法要は御導師に本願寺堺別院の水正義乗ご輪番をお迎えし、また、真宗木辺派(※浄土真宗は本願寺派(西)や大谷派(東)が有名ですが、他にも八派あります。真宗木辺派は滋賀県野洲市の錦織寺がご本山です。親鸞聖人が関東から帰洛の途中で立ち寄られ、この地をご教化されたことを縁とされたそうです。)の新興様をご臨席のもとおつとめがなされました。



蓮如忌法要の様子

ご法話の御講師には真宗大谷派の僧侶でもあり、アドバンストマテリアルジャパン株式会社社長、中村繁夫先生が貴重な体験をお話しくださ

いました。自動車や携帯電話などで使われている希少金属(レアメタル)というものがあ

本という国の有難さや勿体なさに気付くことができること。「物が有ることは当たり前ではなかったんですね」とお参りくださった方から聞かせていただきました。ご法要の後はお寿司やおはぎ、川北組寺族青年会による焼きそばやポップコーンの無料接待をしてくださっておられます。住職も法要に出勤した後は、焼きそば屋さんに変身です。緊張感のあるご法要が終わってすぐに焼きそばを二百人分作るの相当ハードですが、喜んでくださる皆さんの顔をみるとやはり嬉しいもので、毎年お手伝いさせていたただいております。さて、蓮如忌法要の見どころといえば、やはり八万四千枚ともいわれる華葩けはが舞い散る大散華です。色とりどりの法衣を身にまとった約百人の僧侶によるそれは、まさに圧巻です。来年は任職継職奉告法要も併せてのご法要となるようです。ぜひ一緒に参拝させていただきますよう。

往生は

一人のしのぎなり

一人一人

仏法を信じて

後生を

たすかることなり

よそごとのやうに

思ふことは

かつはわが身を

しらぬことなり云々

(蓮如上人御一代記聞書)

先月より記念法要のパンフレットに記載できなかった新旧住職の表白をご紹介します。今号は新住職です。

仏教語辞典



挨拶

「一挨拶」という禅語からきている。挨拶は「押す、攻め込む」、挨拶は「迫る、切り返す」という意味で、師と弟子の僧や修行僧同士が相手のさとりと深淺を試す真剣勝負を挨拶という。形式だけになりやすい挨拶ですが心と心をつなぐ大切なもの。

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

敬って、大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に白して言さく。

本日ここに、龍谷末流釋法道、当吉富山淨覚寺開基三百五十年記念法要、並びに、第十世住職繼職奉告法要を仏祖の御前に奉告するにあたり、当山門信徒とともに恭しく尊前を莊嚴し、有縁の法類の証誠を仰ぎつつ懇ろに聖教を誦誦して、歴代住職、並びに、門徒同行への報謝と住職繼職の決意を述べ奉る。

それ惟れば、阿弥陀如来は流転の凡愚を憐れみて大悲の誓願を成就し、極樂世界を建立して苦悩の衆生を招喚し給い。釈迦如来は『大無量寿経』を宣説して一切の群生を發遣し給う。

七高僧は二尊遺喚の意を宣述し、宗祖親鸞聖人は仏祖の正意を受け伝えて本願力回向の教法を顕示し、これを浄土真宗と名付け給えり。

顧みるに、当吉富山に聖人の遺風を仰ぎて、浄土真宗の法幢を掲げしより三

五十年。歴代の住職、正法の宣流怠ることなく聞法道場の面目を發揮し、門徒同行またよくその化導にしたがい、相携えて法義の護持發展に努む。

これによつて念仏の声四圍に満ち、大悲の摂化は自ずからその力用をあらわし給えり。

ここに末學釋法道、身は甚だ愚鈍にして力及ばずといえども、仏祖の冥加と当山歴代の恩恵を受けて淨覚寺住持の職に就く。

希わくは、今日より以後、有縁の法類、並びに、門徒同行の更なる助力を仰いでひたすら法義宣揚に精進し、もつて自行化他、自信教人信の聖訓に添い奉らんことを、一切三宝大悲を垂れて、哀愍納受し給え。

編集後記

『じゅこう』第二号をお届けします。参拝させていただいた願証寺さまは、本願寺第八世蓮如上人の開かれたお寺で、後を任された六男の蓮淳さまよりその血脈は、途絶えることなく今日に続いておられます。今月の法語は『蓮如上人御一代記聞書』よりいただきました。「往生は一人のしのぎなり」とは、往生は一人一人の身に成就することからであって、一人一人が仏法を信じて、このたび浄土に往生させていただくのである、ということです。往生という私のいのちの問題は、誰にも変わってもらうことはできません。人ごとではなく、私自身のこととして、また先の話ではなく今解決すべく問題として、お聴聞させていただきましよう。六月十六日、お待ちしております。(釋法道)

行事案内

日時・六月十六日(日) 十四時より
行事・仏さまのお話を聞く会
場所・長原 淨覚寺
法話・当山住職 釋法道
(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

七月

七月二十一日(日) 十時~十六時
『じゅごも会 夏のひょうし』
今年も流しそめんどびす。1予定ください。